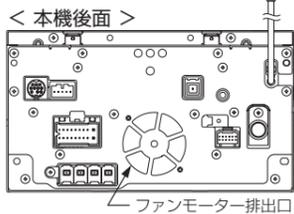
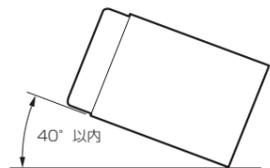


■取り付けかた

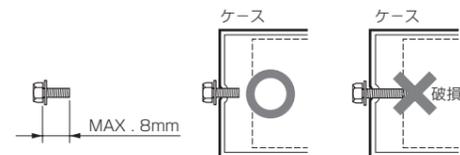
取り付け上のご注意

1. 本機は、水平面から 40° 以内に取付けてください。
2. 車両への取り付けは、一部の車種を除き、車両の取付金具を使用して取付けることができます。
3. 車種や年式により、専用の取付キットを使用しないと取付けられない場合がありますので、販売店にご相談ください。
4. 本機には、本体内部の温度を上げないため、ファンモーターが付いています。ファンモーターの排出口をコードや取付ブラケット等でふさぐと、故障または火災の原因となりますので、配線等に注意して取付けてください。
5. 本機のパネル部を開閉する際、一部の車種では車両のセンターパネルと接触することがあります。その場合はセンターパネルを接触しないように加工して取付けてください。
6. 取り付ける際、故障の原因となりますので本機のパネル面を強く押し付けないようにしてください。



ご注意

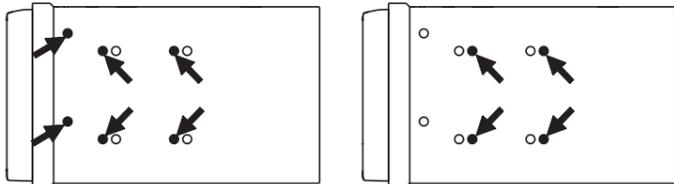
- 取付ブラケットのネジ穴形状に合わせて、必ず付属のネジをご使用ください。指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。



取り付け穴について

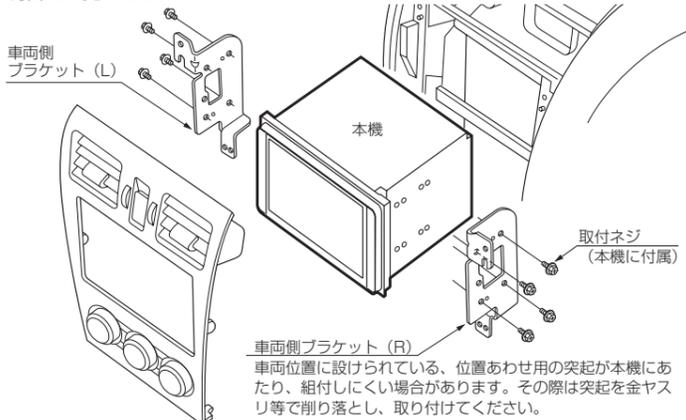
本機には、トヨタ車用の取り付け穴が設けられています。車種によって多少異なりますが、下図●印穴のいずれか 4 カ所を使用して取り付けます。

一部の車種(スバル車からの OEM 車)は以下の図をご覧ください。



取り付け例

車種別専用取付キット(別売)をご使用の場合、詳しくはキットに同梱の取扱説明書をご覧ください。



GPS アンテナの取り付け

ご注意

1. 付属の GPS アンテナは、車内専用です。車外への取り付けはできません。
2. GPS アンテナは、ナビゲーション本体や CD プレーヤーなどのカーオーディオ機器またはレーダー探知器から 50cm 以上離して取付けてください。これらの機器の近くに設置すると、電波を受信しにくくなる場合があります。
3. 一部の運転支援システム(自動ブレーキ装置等)装着車の場合、運転支援ユニットおよびハーネスと GPS アンテナやアンテナコードを近づけると、受信感度が低下することがあります。
4. GPS アンテナは電波を受信しやすくするために、平らな面に水平に取り付けてください。
5. GPS アンテナのカバーにワックスをかけたり塗装をしないでください。アンテナの性能が落ちます。

お願い

取り付け面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けてください。

■ ダッシュボードに取り付ける場合

1 GPS アンテナに両面テープを貼り付ける

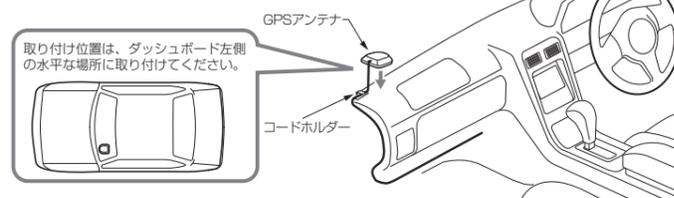
GPS アンテナの裏に、両面テープを貼り付けます。

2 アンテナを取り付ける

GPS アンテナをダッシュボードの電波のさえぎられにくい平らな場所に貼り付けます。

3 アンテナコードを配線する

アンテナコードを、コードホルダーで固定します。



警告

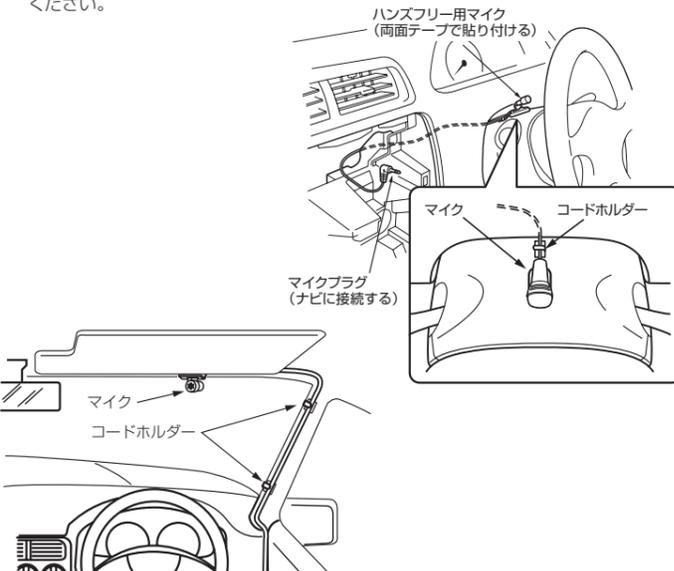
- エアバッグシステムの作動に影響する位置、視界をさえぎる位置には取り付けしないでください。事故の原因となります。

ハンズフリー用マイクの取り付け

■ 取り付け場所について

ステアリングコラムカバーやサンバイザーに、ハンズフリー用マイクを、運転者の口元に向けて、同梱の台座かクリップで取付けてください。

※台座を使用して取り付ける場合は、貼付面の汚れ、水分・油分などをよく拭き取ってください。



取り付けた後に行ってください

■ ジャイロの感度調整について

インダッシュなどに本機が傾斜して取り付けられた場合、取付角度によって地図に表示される自車方向にズレが目立つことがあります。(特に交差点などを曲がった際)

本機の車両への取付角度をご確認のうえ、以下の手順でジャイロ感度を設定し、自車方向を調整してください。詳しくは、<http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/fitting/guide/index.html> をご覧ください。

1. メニューボタン ▶ **情報 / 設定** ▶ **設定** ▶ **その他設定** をタッチする
2. **販売店** ▶ **はい** ▶ **ジャイロ感度設定** をタッチする
3. レベルを選択する

レベル	取付角度 (°)
レベル 0	水平 (0)
レベル 1	4
レベル 2	8
レベル 3	20
レベル 4	32
レベル 5	36
レベル 6	40
レベル -1	曲がりすぎる場合に使用します

工場出荷時の初期設定は「レベル 3」です。

■ 自車位置のずれを修正する

はじめてナビゲーションをお使いになるときは、自車位置のずれを修正するために、GPS が受信できる以下のような道で、約 5 分間、法定内の速度で定速走行を行ってください。

- ・上空に障害物がない道
- ・周辺に高いビルがない道

■ 各接続状況を確認する

ナビゲーション本体の「接続チェック」画面より、接続状況を確認してください。

1. メニューボタン ▶ **情報 / 設定** をタッチする
2. **ナビ設定** ▶ **その他の設定** ▶ **接続チェック** をタッチする

スピードセンサーは、走行することでパルス信号の状態を確認することができます。(停止中は、表示しません。)

TV 用フィルムアンテナの取り付け

用意するもの

- 取り付け作業の前に、以下のものを用意してください。
- ・樹脂ヘラ
 - ・ハサミ
 - ・マスキングテープ
 - ・やわらかい布など

取り付けのご注意

●車種によって、取り付けられない場合があります。

- ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのカーディーラーにお問い合わせください。

●車種によっては、フロントピラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントピラーの取り外しならびに復元は、必ずカーディーラーまたは専門技術のある方に依頼してください。

●フロントウィンドウの指定位置・寸法内に貼り付けてください。

- ・本商品は**フロントウィンドウ専用**です。それ以外の場所(リアウィンドウなど)には貼り付けしないでください。

- ・保安基準*に適合させるために、本書の「貼り付け位置について」および「貼付許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条細目告示第39条および別添37をいいます。

●以下の場合、地上デジタルTVの受信感度が低下することがあります。

- ・一部の運転支援システム(自動ブレーキ装置等)装着車の場合
- ・他の電装品(ドライブレコーダーなど)を装着している場合

貼り付ける前に

本紙は左側(フロントピラー・フルセグ)の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

1 フロントウィンドウの汚れを落とす

1. フロントウィンドウ(内側)のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、付属のクリーナーで拭いて十分に汚れを落とし乾かしてください。

- ・貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かないおそれがあります。フィルムアンテナを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- ・フィルムアンテナを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ自体も暖めてください。

貼り付け位置について

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、本書裏面の貼り付け手順 2 の「貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。(左右逆に貼り付けしないでください。)

- フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。

- フィルムアンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。

- フィルムアンテナは、ETC 受光部、他機器のアンテナなどから 20mm 以上離して貼り付けてください。

2 フィルムアンテナ・アンテナケーブル給電部の貼付位置を決める

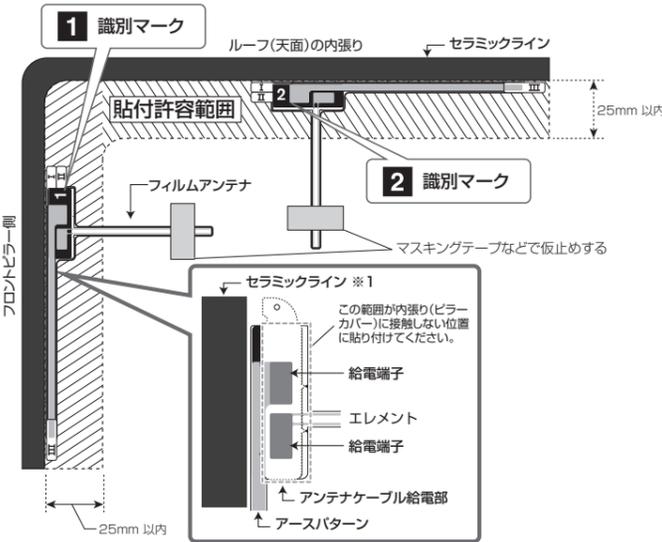
- 1 フィルムアンテナ・アンテナケーブル給電部の貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- 2 マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンテナケーブル給電部を仮固定し、車内の内張り（フロントピラーなど）に当たらないことを確認してください。
- 3 ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

貼付許容範囲

- フィルムアンテナの給電端子およびアンテナケーブル給電部は、セラミックライン上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内（斜線部）に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

ご注意

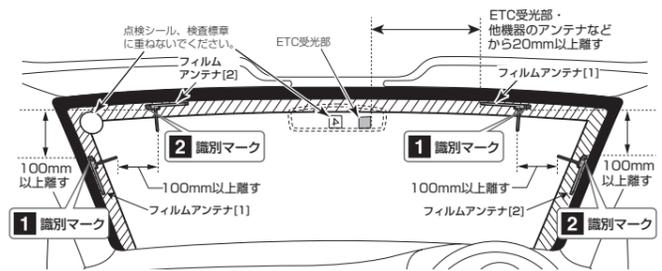
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。



<車室内側からフロントウインドウを見た図>

ご注意

- フィルムアンテナは、2種類あります。（1の識別マーク、2の識別マーク）貼付位置を確認のうえ、間違えないよう貼り付け作業を行ってください。



3 フィルムアンテナを貼り付ける

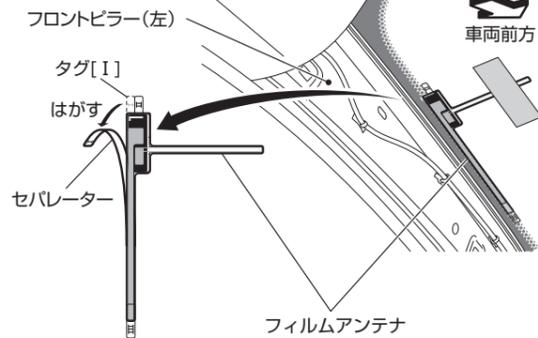
本紙は左側（フロントピラー）の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

ご注意

- アンテナの接着面に手で触れないでください。また万が一触れた場合に備え、手や指の汚れを落として作業をしてください。
- 空気が入ったり、シワが寄らないように注意してゆっくり端から貼り付けてください。
- 貼り直しができませんので、十分注意して位置決めをしてください。

- 1 [I] のタグを持ち、ゆっくりとセパレーターをはがし、指定の貼付位置がずれないように貼り付けてください。

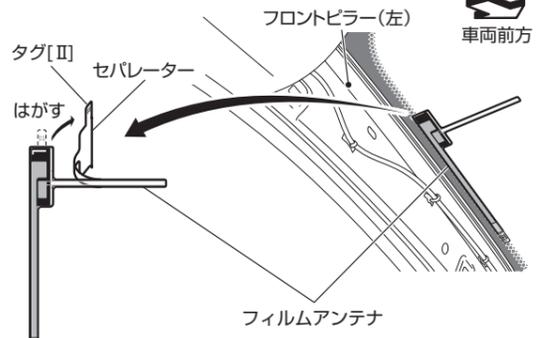
<助手席からフロントウインドウを見た図>



- 2 [II] のタグを持ち、ゆっくりとセパレーターをはがし、指定の貼付位置がずれないように貼り付けてください。

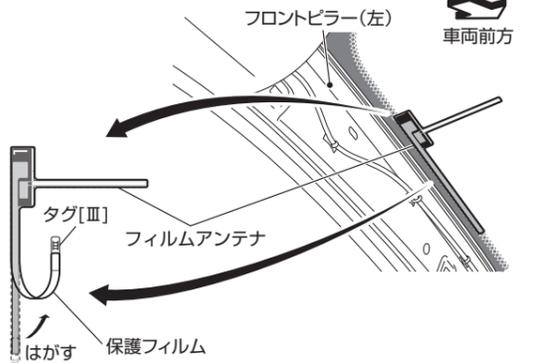
- フィルムアンテナをやわらかい布等で、こすらずに上から丁寧に押さえ、フロントウインドウに定着させてください。

<助手席からフロントウインドウを見た図>



- 3 [III] のタグを持ち、ウインドウ側にアンテナ線が残っていることを確認しながら、ゆっくりと保護フィルムをはがしてください。

<助手席からフロントウインドウを見た図>



ご注意

- アンテナ線と一緒にはがれてしまう場合は、保護フィルムをいったん戻し、やわらかい布等でこすらずに上から丁寧に押さえ、フロントウインドウに定着させてから再度はがしてください。

4 アンテナケーブル給電部を貼り付ける

- 1 アンテナケーブル給電部のはくり紙をはがしてください。
- 2 フィルムアンテナの▲マークとアンテナケーブル給電部の突起を合わせ、フィルムアンテナの給電端子部に貼り付けてください。

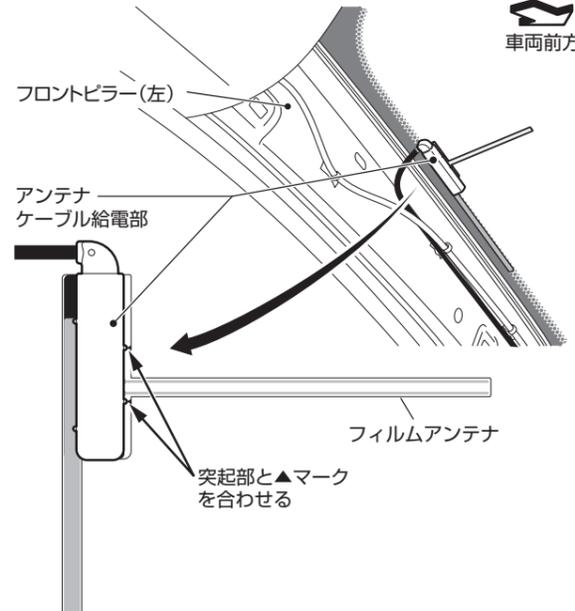
ご注意

- 給電部の裏側には、①、②のタグが付いています。フィルムアンテナ [1] には、①のタグが付いているアンテナケーブルを貼り付けてください。①、②を逆に貼り付けると、受信性能が低下する場合があります。
- 給電端子の方向を間違えないように貼り付けてください。

<給電部を裏側から見た図>

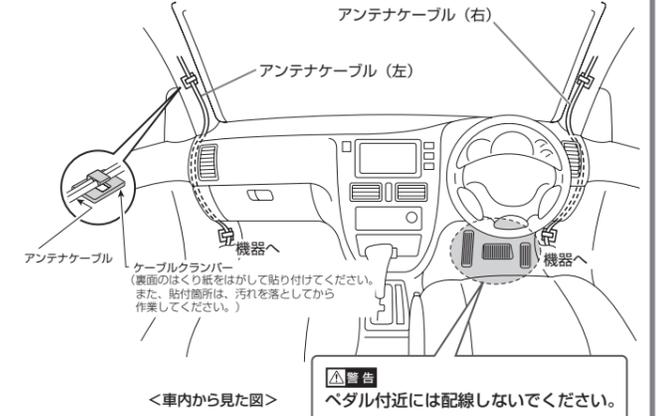


<助手席からフロントウインドウを見た図>



5 アンテナケーブルを固定する

- 1 ケーブルクランパーで固定しながらケーブルの配線を行ってください。
- アンテナケーブル給電部に負荷がかからないように、アンテナケーブル給電部を押さえながら作業を行ってください。

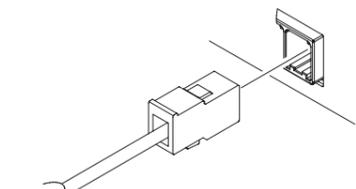


警告

- フロントピラーにエアバッグが装着された車両には、エアバッグ動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- 運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がφ14mm（曲げR7mm）以上となるようにまとめてください。
- アンテナケーブルをピラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。（先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。）

6 アンテナ端子を接続する

- 1 アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。
- 「結線のしかた」をご覧ください、正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。



ご注意

- アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
- アンテナ貼り付け後、24時間は自然放置し、無理な力は加えないようにしてください。
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかかないようにご注意ください。

結線のしかた

警告
取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。ショート事故による感電やけがの原因となります。また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。
- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることを確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。なお、作業は販売店に依頼してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量20A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用し、必ずヒューズを装着してください。

- iPhone® 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPod®
- iPhone 4s
- iPhone 4

iPod/iPhoneの機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。接続できる機器の最新情報については、以下をご覧ください。
<http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/connection/>
 ※「NX617W」の情報を参照してください。

リアモニター システムアップ例

汎用リアモニター

※リアモニター出力は、DVD、テレビ、VTR、ビデオ対応iPod接続ケーブルで接続したiPodビデオ、SDカード・USBメモリーのビデオのみとなります。

外部映像出力機器 システムアップ例

VTR

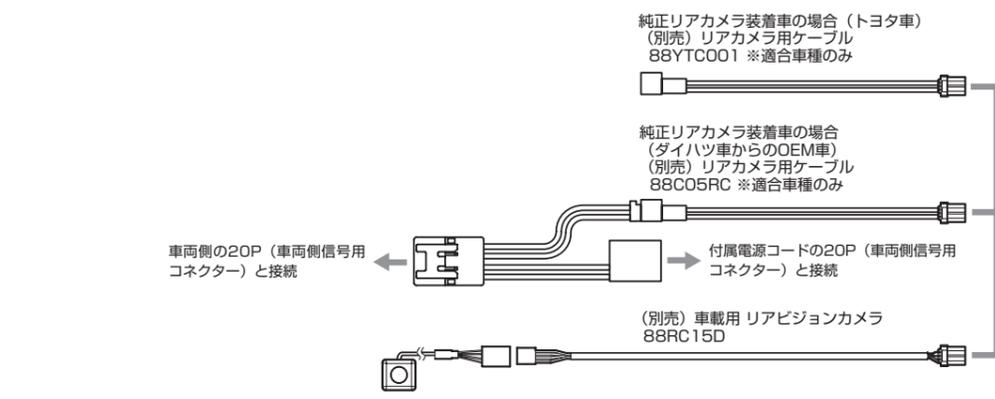
ご注意

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力された場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してご覧ください。

ご注意

本機では2ZONE OUT端子は使用しません。

USB端子からの出力電圧は500mAとなります。接続するiPod/iPhoneの機種によっては、充電できない場合があります。

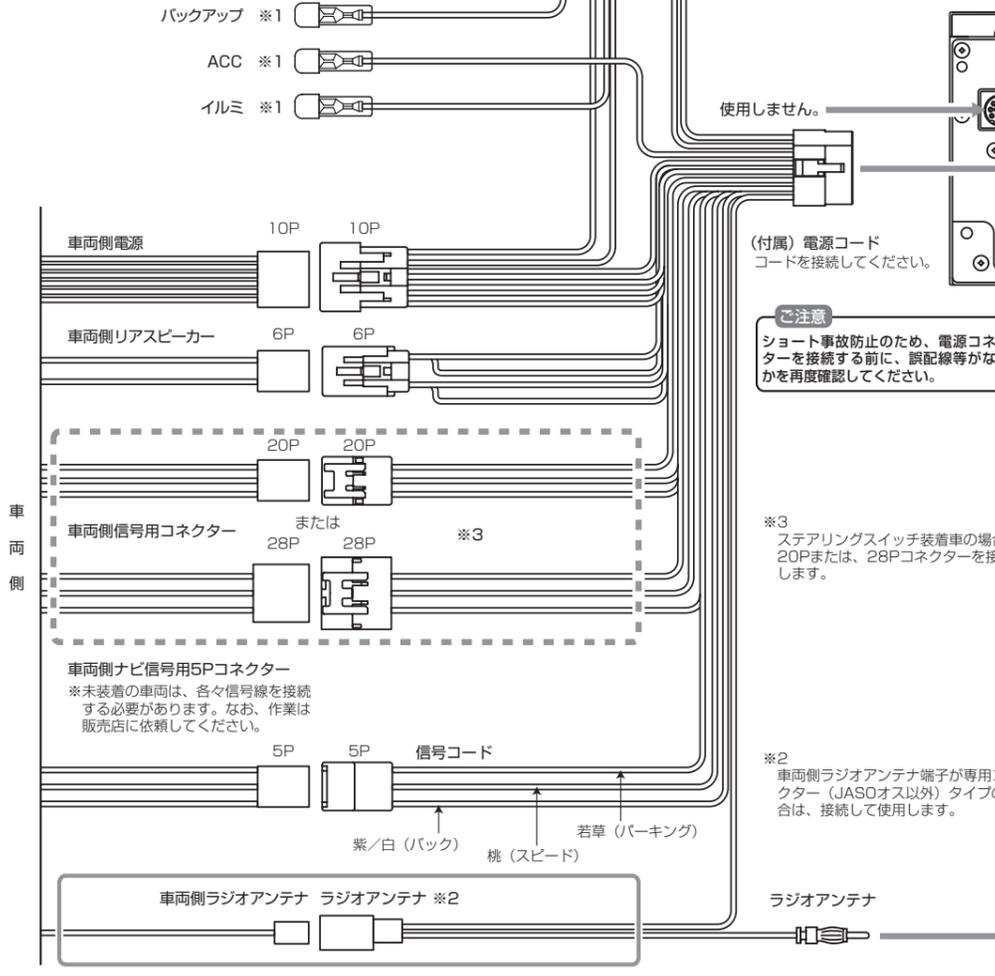


予備端子※1

注意

車両側電源容量を確認して、予備端子として使用できます。なお、使用しない場合は、キャップを外さずに絶縁テープなどで覆ってください。

ヒューズ 15A



(付属) 電源コードコードを接続してください。

注意

ショート事故防止のため、電源コネクターを接続する前に、誤配線等がないかを再度確認してください。

※3

ステアリングスイッチ装着車の場合、20Pまたは、28Pコネクターを接続します。

※2

車両側ラジオアンテナ端子が専用コネクター (JASOオス以外) タイプの場合は、接続して使用します。

ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

1. 本機のメイン電源カプラー (10P、黄色線) の車両側の電源カプラーを抜きます。
2. 結線が正しいか確認してください。
3. 確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

注意

車側の端子は他の金属部に接触させないようにしてください。

ラジオアンテナ入力端子
 車側のメインアンテナ端子を接続します。

注意

車側のメインアンテナ端子を接続したときに、本体背面よりアンテナ端子が突出します。本体を車に装着する際には、アンテナ端子に他のコード類等によって力が加わらないように、スペースを空けるようお願いいたします。

(付属) 地上デジタルTV用車載フィルムアンテナ ZCP-140

TVアンテナを接続します。

※TVアンテナはどのような順番でも接続できます。